

広い視野と柔軟な思考

慶應義塾大学理工学部には大学初年次に将来の専門性について熟考することのできる「学門制」入学をはじめ、興味やレベルに応じて学生自身が自律的に選択することのできる「総合教育科目」など、独自の教育プログラムが多数用意されています。多様な個性を持つ学生同士が互いに刺激し合い、視野を広げ、高い思考力を養っています。

広範な分野の科目を学ぶことに加え、高度な実験機器に触れる経験が広い視野と専門領域への探究心を育む。



多視点のストリーミング配信を実現し臨場感あふれるライブ映像を届けたい

情報工学科4年 / 山中研究室
東京都 / 私立桜蔭高等学校 出身

幅広い理工系の教養を身につけながら進路を検討していきたいと考えていたので、学門制は私にとって大きな魅力でした。元々は人工知能に興味があったのですが、基礎科目で通信システムや通信ネットワーク工学を学び、その面白さに惹かれたことは、研究室の選択に少なからず影響していると思います。また、実験では1年生の時点から高度な装置や機器に触れることができます。学べる領域の広さを持ちながら専門性を探求する意欲を育めるカリキュラムや環境は、4年間の学びを組み立てる上で非常に有益であったと思っています。

現在は、次世代の光バックボーンネットワークの基盤技術や大規模な画像配信アプリケーションなどに関する研究を行っている情報工学科の山中研究室に所属し、「多視点ストリーミング配信」の研究に取り組んでいます。

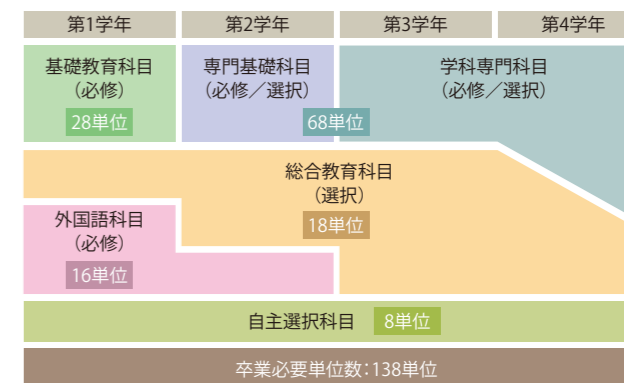
多視点映像は、複数のカメラを用いて臨場感あふれる三次元的な映像を生成する技術で、特にスポーツやライブコンサートなどの分野で注目されています。オンデマンド配信は既にサービスも始まっていますが、ライブストリーミングでは遅延など克服すべき課題が多く、まだ実現には至っていません。それを既存の技術やリソースの使い方を工夫して、何とか実現に近づけようというのが私の研究です。

学部卒業後は大学院に進学し、いま取り組んでいる研究を深めていくつもりです。修士課程では、学会での発表や企業との連携など、新たな経験に積極的に挑戦し、将来は技術者や研究者として映像配信分野の発展に貢献していきたいと考えています。

4年間の授業計画

学部1・2・3・4年

第1学年では、将来どの分野にでも進めるよう、基礎教育科目を用意しています。学科を選択し、各学科に配属になる第2学年では、基礎学力を充実させるための専門基礎科目を学習します。第3・第4学年の学科専門科目では、新たな科学技術の開拓に積極的に挑戦してもらいたいという目的から、多彩な選択科目が用意されています。また、著名人による特別講義なども行われています。総合教育科目や自主選択科目は、4年間を通して学べるようになっています。



学門制

入学時

5つの大きな研究・教育分野に対応した「学門」があり、入試出願の時点でいずれかを選択します。入学後に自分の興味や関心に応じて徐々に学びたい分野を絞り、第2学年進級時に学科を選択します。学科選択や科目選択の自由度が高く、学科に分かれた後は異なる関心を持つ学生同士がともに学ぶ、刺激的かつ創造的な学習環境が実現されています。



充実した基礎科目

学部1・2年

基礎教育科目では数学・物理学・化学に加えて、生物・生命関係の基礎を学ぶ「生物学序論」、実験の進め方を身につける「自然科学実験」、コンピュータの利用技術を学ぶ「情報学基礎」など、将来研究を進める上で重要な科目を学びます。また、専門基礎科目は各学科の必修科目と多彩な選択科目で構成され、基礎学力を高めて本格的で高度な研究に備えます。



多角的な総合教育

学部1・2・3・4年

理工学部では、単なる科学技術分野の専門家の養成にとどまらず、科学技術と人間社会のより良い関係を提案し実現できるような教養あるリーダーの養成を目指しています。そのような教養を涵養すべく、さまざまな分野の科目が総合教育科目として学部4年間にわたって設置されています。「総合教育セミナー」「グローバルリーダーシップセミナー (GLS)」「人文社会科学演習」といった科目もここに含まれます。

